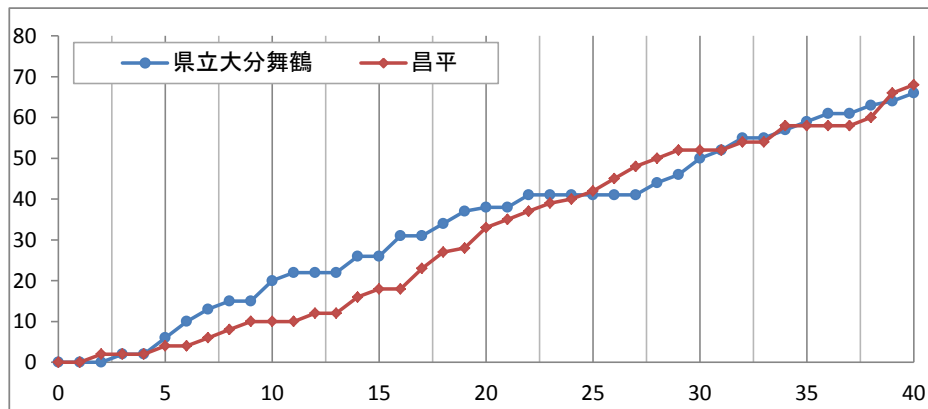


平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

男子 1回戦	県立大分舞鶴 66	68 昌平
主審 堀内 純	(大分) ●	○ (埼玉)
副審 小原 健太		

No. 29f4 日時: 2013年7月29日(月) 14:30 会場: 大分県立総合体育館



県立大分舞鶴

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 久岡 拓生 (C)	10	1	3	1	1
5	* 橋 泰地	3	1	0	0	1
6	糸永 成志	6	0	3	0	2
7	西山 海渡	4	0	1	2	2
8	* スミス 安努隆	4	0	2	0	2
9	* 森本 勘太	32	4	9	2	3
10	香川 泰斗	-	-	-	-	-
11	* 瀧 恵堯	7	0	3	1	2
12	小野 健太	0	0	0	0	0
13	大宅 聡樹	-	-	-	-	-
14	堀 雄士郎	0	0	0	0	0
15	衛藤 裕太	0	0	0	0	0
コーチ	齋藤 哲也					
合計		66	6	21	6	13

昌平

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	松本 怜	0	0	0	0	0
5	西村 幸起	0	0	0	0	0
6	小池 優太	2	0	1	0	1
7	* 井上 匠 (C)	24	4	4	4	1
8	豎山 晃端	2	0	1	0	0
9	* 田村 敦哉	14	2	4	0	2
10	* 小無田 蓮	6	0	3	0	3
11	小竹 貴也	0	0	0	0	4
12	* 御嶽 祐之介	2	0	1	0	4
13	川合 祐太郎	-	-	-	-	-
14	石垣 裕貴	-	-	-	-	-
15	* 八木 翼	18	0	9	0	2
コーチ	畔川 秀雄					
合計		68	6	23	4	17

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

1回戦Fコート第4試合。地元開催に燃える大分舞鶴高校の登場。第1ピリオド、両チームマンツーマンディフェンスでスタート。昌平#5が先制点を奪うが、舞鶴は#11のレイアップで応戦。昌平は#15ローポストにボールを集めようとするが、なかなか点数が伸びない。舞鶴は#9のゴール下シュートや#5、#9の3P、#6の連続ドライブインなどで20-10舞鶴リード。第2ピリオド、#9、#6のアウトサイドで加点する舞鶴に対し、昌平は#15のローポストプレイやリバウンドシュート、#7の1on1を中心にじりじりと追い上げ、38-33舞鶴高校リードで前半を終える。

第3ピリオド、舞鶴はアウトサイドからのシュートによる得点がなかなか決まらない中、昌平は#15のゴール下などで逆転に成功。#7の連続3Pでリードを広げようとするが舞鶴は#9の連続得点で食い下がり、50-52昌平2点リードで最終ピリオドを迎える。第4ピリオドは、激しい点の取り合いとなり、一進一退の攻防。昌平はオールコートマンツーマンで間合いを詰め、点差を広げようとするが舞鶴#11のスティールからの得点や#4の1on1などで5点差が開いた残り2分20秒昌平タイムアウト。再度#15を投入し残り1分26秒同点に追いつく。舞鶴が#11のフリースローで1点リードした残り1分16秒、昌平は2度目のタイムアウトを取り、昌平#7の3Pで再度逆転。舞鶴が2回目のタイムアウト。シュートが入らず逆に昌平#9がミドルシュートを落ち着いて決め4点差。残り21秒舞鶴最後のタイムアウト。会場の応援に後押しされてか、#9がスティールからレイアップを決め、2点差。昌平は残り5.6秒、最後のタイムアウトを取ったのち、舞鶴はファウルゲームへ。フリースローは2本ともはずれ、舞鶴ボールとなり、最後の3Pに会場中の願いは届かず66-68。惜しくも初戦敗退となった。

© 2013 Yuzo Kosaka All Rights Reserved Vol.007a

記事者 村上 重行 (所属) 大分県バスケットボール協会